

ダニエル書 4

3 ああ、そのしるしの大いなること、
ああ、その奇跡のすばらしいこと、
その国は永遠の国、
その主権は世々に及ぶ。

ダニエル書 4

22 王よ、それはすなわちあなたです。あなたは成長して強くなり、天に達するほどに大きくなり、あなたの主権は地の果にまで及びました。

ダニエル書 4

34 こうしてその期間が満ちた後、われネブカデネザルは、目をあげて天を仰ぎ見ると、わたしの理性が自分に帰ったので、わたしはいと高き者をほめ、その永遠に生ける者をさんびし、かつあがめた。その主権は永遠の主権、
その国は世々かぎりなく、

ダニエル書 6

26 わたしは命令を出す。わが国のすべての州の人は、皆ダニエルの神を、おのき恐れなければならない。彼は生ける神であって、
とこしえに変わることなく、
その国は滅びず、その主権は終りまで続く。

ダニエル書 7

6 その後わたしが見たのは、ひょうのような獣で、その背には鳥の翼が四つあった。またこの獣には四つの頭があり、主権が与えられた。

ダニエル書 7

12 その他の獣はその主権を奪われたが、その命は、時と季節の来るまで延ばされた。

ダニエル書 7

14 彼に主権と光栄と国とを賜い、
諸民、諸族、諸言語の者を彼に仕えさせた。
その主権は永遠の主権であって、
なくなることがなく、
その国は滅びることがない。

ダニエル書 7

26 しかし審判が行われ、
彼の主権は奪われて、
永遠に滅び絶やされ、

ダニエル書 7

27 国と主権と全天下の国々の権威とは、
いと高き者の聖徒たる民に与えられる。
彼らの国は永遠の国であって、
諸国の者はみな彼らに仕え、かつ従う』。

ダニエル書 9

2すなわちその治世の第一年に、われダニエルは主が預言者エレミヤに臨んで告げられたその言葉により、エルサレムの荒廃の終るまでに経ねばならぬ年の数は七十年であることを、文書によって悟った。

エレミヤ書 25

11この地はみな滅ぼされて荒地地となる。そしてその国々は七十年の間バビロンの王に仕える。
12主は言われる、七十年の終つた後に、わたしはバビロンの王と、その民と、カルデアびとの地を、その罪のために罰し、永遠の荒地地とする。

エレミヤ書 29

10主はこう言われる、バビロンで七十年が満ちるならば、わたしはあなたがたを顧み、わたしの約束を果し、あなたがたをこの所に導き帰る。

歴代誌第二 36

20彼はまたつるぎをのがれた者どもを、バビロンに捕えて行つて、彼とその子らの家来となし、ペルシヤの国の興るまで、そうして置いた。
21これはエレミヤの口によつて伝えられた主の言葉の成就するためであつた。こうして国はついにその安息をうけた。すなわちこれはその荒れてゐる間、安息して、ついに七十年が満ちた。

レビ記 25

4しかし、七年目には、地に全き休みの安息を与えなければならぬ。これは、主に向かつて守る安息である。
あなたは畑に種をまいてはならない。また、ぶどう畑の枝を刈り込んではならない。
5あなたの穀物の自然に生えたものは刈り取つてはならない。また、あなたのぶどうの枝の手入れをしないで結んだ実は摘んではならない。これは地のために全き休みの年だからである。

レビ記 25

8あなたは安息の年を七たび、すなわち、七年を七回数えなければならぬ。安息の年七たびの年数は四十九年である。
9七月の十日にあなたはラツパの音を響き渡らせなければならぬ。すなわち、贖罪の日にあなたがたは全国にラツパを響き渡らせなければならぬ。
10その五十年目を聖別して、國中のすべての住民に自由をふれ示さなければならぬ。この年はあなたがたにはヨベルの年であつて、あなたがたは、おのおのその所有の地に帰り、おのおのその家族に帰らなければならぬ。

補図α図. 地は安息.

レビ記 26

27それでもなお、あなたがたがわたしに聞き従わず、わたしに逆らつて歩むならば、
28わたしもあなたがたに逆らい、怒りをもつて歩み、あなたがたの罪を七倍重く罰するであらう。

レビ記 26

33わたしはあなたがたを国々の間に散らし、つるぎを抜いて、あなたがたの後を追うであらう。あなたがたの地は荒れ果て、あなたがたの町々は荒地地となるであらう。
34こうしてその地が荒れ果てて、あなたがたは敵の国にある間、地は安息を楽しむであらう。すなわち、その時、地は休みを得て、安息を楽しむであらう。
35それは荒れ果てている日の間、休むであらう。あなたがたがそこに住んでいる間、あなたがたの安息のときに休みを得なかつたものである。

レビ記 26

36またあなたがたのうちの残つてゐる者の心に、敵の国でわたしは恐れをいだかせるであらう。彼らは木の葉の動く音にも驚いて逃げ、つるぎを避けて逃げる者のように逃げて、追う者もないのころび倒れるであらう。
37彼らは追う者もないのに、つるぎをのがれる者のように折り重なつて、つまずき倒れるであらう。あなたがたは敵の前に立つことができないであらう。
38あなたがたは国々のうちにあつて滅びうせ、あなたがたの敵の地はあなたがたをのみつくすであらう。
39あなたがたのうちの残つてゐる者は、あなたがたの敵の地で自分の罪のゆえにやせ衰え、また先祖たちの罪のゆえに彼らと同じようにやせ衰えるであらう。
40しかし、彼らがもし、自分の罪と、先祖たちの罪、すなわち、わたしに反逆し、またわたしに逆らつて歩んだことを告白するならば、
41たといわたしは彼らに逆らつて歩み、彼らを敵の国に引いて行つても、もし彼らの無罰礼の心が砕かれ、あまんにて罪の罰を受けるならば、
42そのときわたしはヤコブと結んだ契約を思い起し、またイサクと結んだ契約およびアブラハムと結んだ契約を思い起し、またその地を思い起すであらう。
43しかし、彼らが地を離れて地が荒れ果てている間、地はその安息を楽しむであらう。彼らはまた、あまんにて罪の罰を受けるであらう。彼らがわたしのおきてを軽んじ、心にわたしの定めを忌みきらつたからである。
44それにもかかわらず、なおわたしは彼らが敵の国におるとき、彼らを捨てず、また忌みきらわず、彼らを滅ぼし尽さず、彼らと結んだわたしの契約を破ることをしないであらう。わたしは彼らの神、主だからである。
45わたしは彼らの先祖たちと結んだ契約を彼らのために思い起すであらう。彼らはわたしがその神となるために国々の人の目の前で、エジプトの地から導き出した者である。わたしは主である。』」。

702A. 490年

列王記第一 6

1 イスラエルの人々がエジプトの地を出て後四百八十年、ソロモンがイスラエルの王となって第四年のジフの月すなわち二月に、ソロモンは主のために宮を建てることを始めた。

列王記第一 6

38 第十一年のブルの月すなわち八月に、宮のすべての部分設計どおりに完成した。ソロモンはこれを建てるのに七年を要した。

1 またソロモンは自分の家を建てたが、十三年かかってその家を全部建て終った。

ダニエル書 9

24 あなたの民と、あなたの聖なる町については、七十週が定められています。これはとがを終らせ、罪に終りを告げ、不義をさがさない、永遠の義をもたらし、幻と預言者を封じ、いと聖なる者に油を注ぐためです。

申命記 26

16 きよう、あなたの神、主はこれらの定めと、おきてとを行うことをあなたに命じられる。それゆえ、あなたは心をつくし、精神をつくしてそれを守り行わなければならない。

17 きよう、あなたは主をあなたの神とし、かつその道に歩み、定めと、戒めと、おきてとを守り、その声に従うことを明言した。

18 そして、主は先に約束されたように、きよう、あなたを自分の宝の民とされること、また、あなたがそのすべての命令を守るべきことを明言された。

19 主は誉と良き名と栄えとをあなたに与えて、主の造られたすべての国民にまさるものとされるであろう。あなたは主が言われたように、あなたの神、主の聖なる民となるであろう。

宝の民と子

祝福

申命記 28
1 もしあなたが、あなたの神、主の声によく聞き従い、わたしが、きよう、命じるすべての戒めを守り行わらば、あなたの神、主はあなたを地のもろもろの国民の上に立たせられるであろう。
2 もし、あなたがあなたの神、主の声に聞き従うならば、このもろもろの祝福はあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。

のろい

申命記 28
15 しかし、あなたの神、主の声に聞き従わず、きよう、わたしが命じるすべての戒めと定めとを守り行わないならば、このもろもろののろいがあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。

補囚

申命記 28
36 主はあなたとあなたが立てた王とを携えて、あなたもあなたの先祖も知らない国に移されるであろう。あなたはそこで木や石で造ったほかの神々に仕えるであろう。
37 あなたは主があなたを追いやられるもろもろの民のなかで驚きとなり、ことわざとなり、笑い草となるであろう。

再び集めよ

申命記 30

- 1 わたしがあなたがたの前に述べたこのもろもろの祝福と、のろいの事があなたに臨み、あなたがあなたの神、主に追いやられたもろもろの国民のなかでこの事を心に考えて、
- 2 あなたもあなたの子供も共にあなたの神、主に立ち帰り、わたしが、きょう、命じるすべてのことにおいて、心をつくし、精神をつくして、主の声に聞き従うならば、
- 3 あなたの神、主はあなたを再び栄えさせ、あなたをあわれみ、あなたの神、主はあなたを散らされた国々から再び集められるであろう。
- 4 たといあなたが天のはてに追いやられても、あなたの神、主はそこからあなたを集め、そこからあなたを連れ帰られるであろう。
- 5 あなたの神、主はあなたの先祖が所有した地にあなたを帰らせ、あなたはそれを所有するに至るであろう。主はまたあなたを栄えさせ、数を増して先祖たちよりも多くされるであろう。
- 6 そしてあなたの神、主はあなたの心とあなたの子孫の心に割礼を施し、あなたをして、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主を愛させ、こうしてあなたに命を得させられるであろう。
- 7 あなたの神、主はまた、あなたを迫害する敵と、あなたを憎む者と共に、このもろもろののろいをこうむらせられるであろう。
- 8 しかし、あなたは再び主の声に聞き従い、わたしが、きょう、あなたに命じるすべての戒めを守るであろう。

申命記 31

- 29 わたしは知っている。わたしが死んだのち、あなたがたは必ず悪い事をして、わたしが命じた道を離れる。そして後の日に災があなたがたに臨むであろう。これは主の悪と見られることを行い、あなたがたのすることをもって主を怒らせるからである」。

主の教

申命記 32

- 1 「天よ、耳を傾けよ、わたしは語る、地よ、わたしの口の言葉を聞け。
 - 2 わたしの教は雨のように降りそそぎ、わたしの言葉は露のようにしたたるであろう。若草の上に降る小雨のように、青草の上にくだる夕立ちのように。
 - 3 わたしは主の名をのべよう、われわれの神に栄光を帰せよ。
 - 4 主は岩であって、そのみわざは全く、その道はみな正しい。
- 主は真実なる神であって、偽りなく、義であって、正である。

シエラエラ

申命記 6

- 4 イスラエルよ聞け。われわれの神、主は唯一の主である。
- 5 あなたは心をつくし、精神をつくし、力をつくして、あなたの神、主を愛さなければならぬ。
- 6 きょう、わたしがあなたに命じるこれらの言葉をあなたの心に留め、
- 7 努めてこれをあなたの子らに教え、あなたが家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならぬ。
- 8 またあなたはこれをあなたの手につけてしるしとし、あなたの目の間に置いて覚えとし、
- 9 またあなたの家の入口の柱と、あなたの門とに書きしるさなければならぬ。

申命記 4

- 6 あなたがたは、これを守って行わなければならない。これは、もろもろの民にあなたがたの知恵、また知識を示す事である。彼らは、このもろもろの定めを聞いて、『この大いなる国民は、まことに知恵あり、知識ある民である』と言うであろう。
- 7 われわれの神、主は、われわれが呼び求める時、つねにわれわれに近くおられる。いづれの大いなる国民に、このように近くおる神があるであろうか。
- 8 また、いづれの大いなる国民に、きょう、わたしがあなたがたの前に立てるこのすべての律法のような正しい定めと、おきてとがあるであろうか。

東方の博士

ダニエル書 2
 48 こうして王はダニエルに高い位を授け、多くの大いなる贈り物を与えて、彼をバビロン全州の総督とし、またバビロンの知者たちを統轄する者の長とした。

ダニエル書 5

11 あなたの国には、聖なる神の霊のやどっているひとりの人がおります。あなたの父の代に、彼は、明知、分別および神のような知恵のあることをあらわしました。あなたの父ネブカデネザル王は、彼を立てて、博士、法術士、カルデヤびと、占い師らの長とされました。12 彼は、王がベルテシャザルという名を与えたダニエルという者ですが、このダニエルには、すぐれた霊、知識、分別があつて、夢を解き、なぞを解き、難問を解くことができます。ゆえにダニエルを召しなさい。彼はその解き明かしを示すでしょう」。

民数記 22

5 彼はアンモンびとの国のユフラテ川のほとりにあるベトルに使者をつかわし、ベオルの子バラムを招こうとして言させた、「エジプトから出てきた民があり、地のおもてをおおつてわたしの前にいます。」

民数記 24

15 ぞしてこの託宣を述べた。「ベオルの子バラムの言葉、目を閉じた人の言葉。16 神の言葉を聞く者、いと高き者の知識をもつ者、全能者の幻を見、倒れ伏して、目の開かれた者の言葉。17 わたしは彼を見る、しかし今ではない。わたしは彼を望み見る、しかし近くではない。ヤコブから一つの星が出、イスラエルから一本のつえが起り、モアブのこめかみと、セツのすべての子らの脳天を撃つであらう。」

マタイによる福音書 2

1 イエスがヘロデ王の代に、ユダヤのベツレヘムでお生れになったとき、見よ、東からきた博士たちがエルサレムに着いて言った、2 「ユダヤ人の王としてお生れになったかたは、どこにおられますか。わたしたちは東の方でその星を見たので、そのかたを拝みにきました」。

マタイによる福音書 2

9 彼らは王の言うことを聞いて出かけると、見よ、彼らが東方で見た星が、彼らより先に進んで、幼な子のいる所まで行き、その上にとどまった。10 彼らはその星を見て、非常に喜びにあふれた。11 ぞして、家にはいつて、母マリヤのそばにいる幼な子に会い、ひれ伏して拝み、また、宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬などの贈り物をささげた。12 ぞして、夢でヘロデのところに戻るなどのみ告げを受けたので、他の道をとおつて自分の国へ帰つて行った。

ダニエル書 8

16 わたしはウライ川の兩岸の間から人の声が出て、呼ばれるのを聞いた、「ガブリエルよ、この幻をその人に悟らせよ」。

ダニエル書 9

21 すなわちわたしが祈の言葉を述べていたとき、わたしが最初に幻のうちに見た、かの人ガブリエルは、すみやかに飛んできて、夕の供え物をささげるところ、わたしに近づき、

ガブリエル

ルカによる福音書 1

19 御使が答えて言った、「わたしは神のみまに立つガブリエルであつて、この喜ばしい知らせをあなたに語り伝えるために、つかわされたものである。」

ルカによる福音書 1

26 六か月目に、御使ガブリエルが、神からつかわされて、ナザレというガリラヤの町の一処女のもとにきた。